

令和2年度

学 校 評 価 資 料

本校職員による学校評価の集計結果・・・・・・・・・・ P 1

本校保護者による学校評価の集計結果・・・・・・・・・・ P 2

学校評価の結果を受けて・・・・・・・・・・ P 3

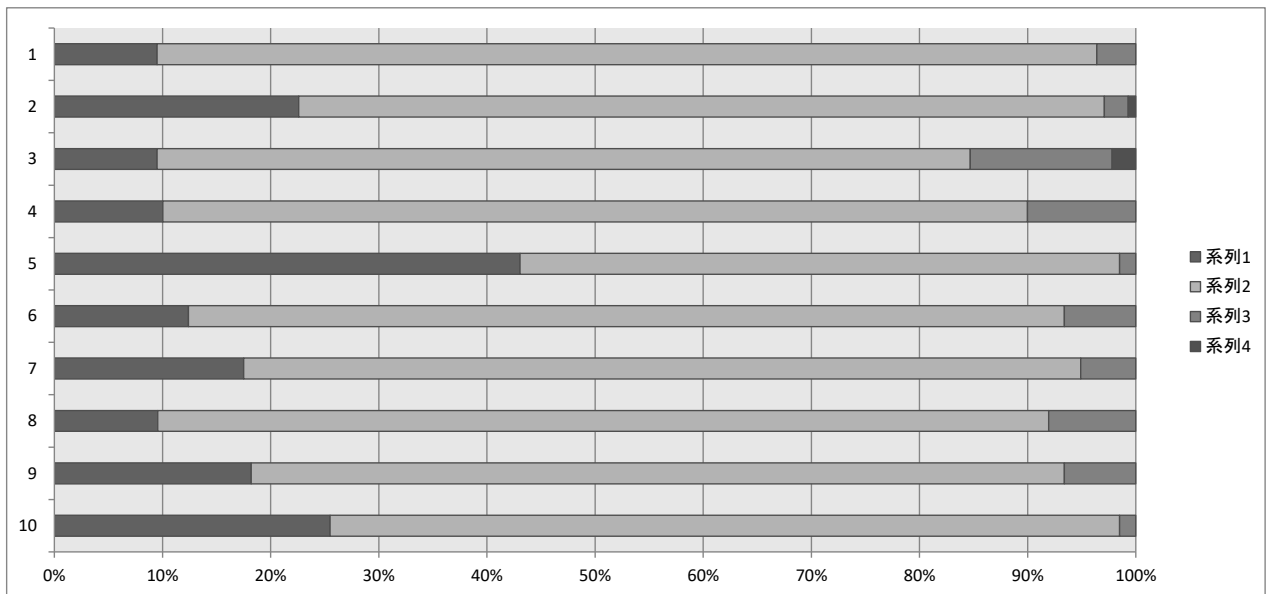
鹿児島県立牧之原養護学校

令和2年度学校評価(職員による自己評価)集計結果

<評価4:十分達成 評価3:おおむね達成 評価2:やや不十分 評価1:不十分>

職員数	回答数	回答率
138	137	99.3%

評価項目		評価割合					平均値	平均値の悪い順位	評価割合 4+3
		4	3	2	1	0			
安心・安全	1 すべての教育活動の中で、人権問題の正しい理解と認識を深める指導を工夫し、展開しているか。	9.5%	86.9%	3.6%	0.0%	0.0%	3.1	5	96.4%
	2 児童生徒の「自己指導能力」を育成し、成長を共に実感できる取組や「あいさつ運動」を推進し、生徒指導の充実を図っているか。	22.6%	74.5%	2.2%	0.7%	0.0%	3	2	97.1%
指導・支援	3 各種検定や作品募集等に積極的に参加し、児童生徒の「やりがい生きがい」を醸成しているか。	9.5%	75.2%	13.1%	2.2%	0.0%	3	2	84.7%
	4 諸教育活動において、評価を核にしたマネジメントサイクルを実施し、教科等指導や生徒指導、進路指導等の内容充実及び工夫・改善を図っているか。	9.4%	75.0%	9.4%	0.0%	0.0%	3	2	84.4%
指導・支援	5 児童生徒の健康管理の徹底し、疾病・感染症の予防と早期発見・早期治療を推進しているか。	43.1%	55.5%	1.5%	0.0%	0.0%	2.9	1	98.6%
	6 施設・設備の管理を徹底し、「ヒヤリハット」の共有化や各種訓練の実施、「危機管理マニュアル」の見直し等を通して、児童生徒の安心・安全の確保が図られているか。	12.4%	81.0%	6.6%	0.0%	0.0%	3.3	10	93.4%
地域連携	7 校外学習や職場体験学習、産業現場等における実習等を通して、卒業後を見据えた実践的な体験活動を数多く設定し、児童生徒が「やりがい生きがい」を感じられるようにしているか。	17.5%	77.4%	5.1%	0.0%	0.0%	3.2	7	94.9%
	8 「個別の移行支援計画」を活用し、進路先との連携を深めるとともに、進路指導等を積極的に行い、一人一人の可能性を伸ばす進路指導及び就労指導の充実を図っているか。	9.5%	81.8%	8.0%	0.0%	0.0%	3.2	7	91.3%
研修・服務	9 研修体系に沿い、それぞれのテーマに対する研修に取り組むことを通して、教科等指導の充実や指導方法の工夫・改善、課題の解決に努めているか。	18.2%	75.2%	6.6%	0.0%	0.0%	3.1	5	93.4%
	10 常に「教職員の行動指針」を意識し、教育公務員としての自覚をもち、児童生徒の教育活動に専念しているか。	25.5%	73.0%	1.5%	0.0%	0.0%	3.2	7	98.5%

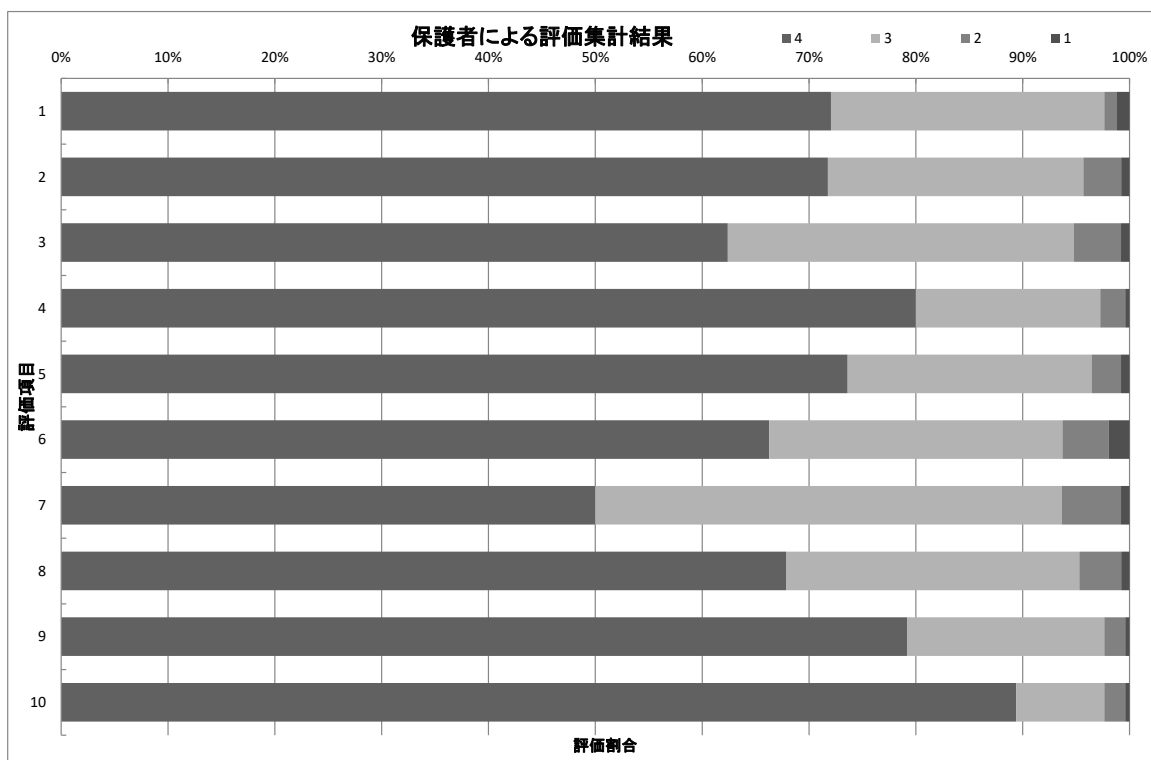


令和2年度学校評価(保護者による自己評価)集計結果

<評価4:思う 評価3:少し思う 評価2:あまり思わない 評価1:思わ

総 数	回答数	回答率
282	254	90.1%

		評 価 割 合				平均値	評価割合 4+3
		4	3	2	1		
1	学校は、教材や学習活動を工夫し、児童生徒が自ら学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	72.6%	25.8%	1.2%	1.2%	3.6850	98.4%
2	学校は、教員自らが社会人としてのモデルを児童生徒に示し、挨拶などの基本的な生活習慣の指導に取り組んでいる。	72.3%	24.1%	3.6%	0.8%	3.6667	96.4%
3	学校は、いじめや不登校、諸問題行動の防止のための取組を行い、保護者との連携に取り組んでいる。	62.9%	32.7%	4.4%	0.8%	3.5640	95.6%
4	学校は、校外学習、作品発表、製品販売、交流学习など、地域社会とのかかわりを充実させる取組を行っている。	80.6%	17.4%	2.4%	0.4%	3.7686	98.0%
5	学校は、保護者に対して、学校での取組や指導の成果などを「個別の指導計画」を活用して積極的に発信し、連携を図っている。	74.2%	23.0%	2.8%	0.8%	3.6929	97.2%
6	学校は、児童生徒に必要な情報を保護者と共有し、教育支援計画等に記載して、関係機関などにつないでいる。	66.8%	27.7%	4.3%	2.0%	3.5804	94.5%
7	学校は、ホームページやブログで本校の教育や児童生徒についての理解を促進するための積極的な情報発信に取り組んでいる。	50.4%	44.0%	5.6%	0.8%	3.4286	94.4%
8	学校は、施設設備を充実させ、児童生徒が安全に活動できるような環境づくりに取り組んでいる。	68.4%	27.7%	4.0%	0.8%	3.6235	96.0%
9	学校は、新型コロナウイルス感染症対策として、児童生徒の健康・安全面に配慮した学習活動の工夫に取り組んでいる。	79.8%	18.6%	2.0%	0.4%	3.7647	98.4%
10	学校は、新型コロナウイルス感染症対策として、学校行事等の精選や実施時期などの変更・調整、通学バス増便などの工夫に取り組んでいる。	90.1%	8.3%	2.0%	0.4%	3.8667	98.4%



令和2年度学校評価を受けて（報告）

今年度の学校評価は、職員及び保護者ともに、各項目の「評価4：十分達成」「3：おおむね達成」を合わせた数値が90%を超える高い評価結果となりました。多少の数値のばらつきはありますが、このことより、今年度の教育活動その他の学校運営については、その目標を概ね達成できていると考えることができます。7月の中間評価においては、小グループによる校務分掌上や学校運営上の課題やその改善策についての共通理解を行いました。また、コロナウイルス感染症対策のなかで、行事等を含んだ学習活動の根本的な見直しを行いました。このことが、課題の早期発見と速やかな改善の取組、職員の学校運営に対する意識向上に繋がり、高い評価結果になったと考えられます。

今回、職員による評価が比較的低い項目及び課題として出された意見について、各学部や各係において、今後の具体的な取組について検討いたしました。それらを今後の教育活動や業務に引き継ぎます。

本校では、今後も特別支援学校として、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援と地域における特別支援教育のセンター的機能を果たすべく、現在の取組を継続しながら、更に充実した教育活動ができるよう取り組みます。